



大安寺護寺会だより

平成二十年七月十一日発行 第零号
発行責任者
大安寺護寺会理事長 北村 耕一

『大安寺護寺会だより』の発刊によせて



大安寺護寺会会長

大安寺住職

押見 俊哉

檀信徒の皆様におかれましては、日頃より 大安寺の護寺の為に、ご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

さてこの度、『大安寺護寺会だより』が発刊されることとなりました。

この記念すべき創刊号が刊行されるにあたり、一言祝意を込めて筆を執らせていただきます。

そもそも「大安寺護寺会」は、昭和三十三年三月十五日に結成され本年で五十年が経過いたしました。

本会の目的は、その名の通り、「大安寺を護る」ことを目的として、大安寺とご縁を結ばせて頂いております檀信徒の皆様が会員となり、様々な事業を行っております。

『会則』の第四条には（行事及び事業）として、

以下のように規定しております。

「本会は目的を達成するため、大安寺の行事に協力し、事業の推進を行う。

一、法要、行事への参加と協力 二、寺院建物、境内等の維持管理 三、寺院運営、発展への協力 四、両本山、宗門行政機関との連携と協力 五、檀信徒の信心高揚、和合への支援と協力 六、その他目的達成への事業」

これらの活動の様子や、大安寺の行事のご案内やその報告等を広報誌を通じて、広く会員である檀信徒の皆様を知って頂きたいとの思いで編集委員会を組織して、『大安寺護寺会だより』を刊行する運びとなりました。

このことを通じて、「うちのお寺、我が菩提寺」との思いを抱いて頂き、お寺をより身近に感じて頂ければ幸いに存じます。その為に、お寺の様子が良く分かり、親しみやすい紙面にしていきたいと思えます。

会員の皆様におかれましても、お気付きの点が御座いましたらご意見を寄せて頂きまして、面白い紙面作りにご協力を、そしてお寺の行事等にご参加頂けますようお願い申し上げます。

会報発行によせて



大安寺護寺会

理事長

北村 耕一

自然界は、さわやかな夏を迎えましたが護寺会員の皆様におかれましては、ご家族様共々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は護寺会の活動に深くご理解とご協力を賜り敬意と感謝を申し上げます。

この会報は 去る一月三十一日の平成二十年総会で承認された護寺会の活動計画のうちの一つとして発行されます。

初めて、編集にたずさわった委員の皆様には大変ご苦労が多かったことと思いますが、いよいよ発行の運びとなったことをお祝い申し上げます。

今年、会報の発行のほかに、塀の改装工事や、境内の整備が予定されており、現に工事が進んでいる所です。

また、理事会での担当の割当表を作ってお寺の行事、法要時の仏旗の掲揚、幕張り、お彼岸とお盆には納骨堂供物等のかたづけ、地藏祭りの準備のお手伝い、会費の振込用紙等の封筒入れを行ってきました。

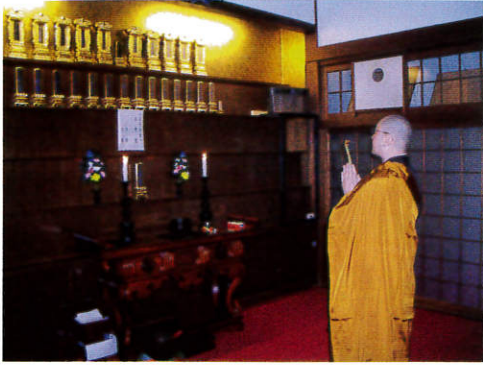
大安寺護寺会会則にも「法要、行事への参加と協力」とあり、護寺会会員の皆様には、是非お寺の法要、行事には積極的に参加していただければと思います。

また護寺会への ご意見・ご要望等をぜひお寄せ下さい。私共は、お寺と会員の皆様とのパイプ役となつて、共に大安寺を中心に「他生の縁」で結ばれていることに感謝しながら「宗門の興隆と大安寺の護寺を図る目的」に向かつて努力してまいりたいと思っております。

なにとぞ、これまで同様にご理解ご支援ご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます、会報発行のご挨拶とさせていただきます。

平成二十年
六月までのお寺の行事

毎朝のおつとめ



朝課(朝のおつとめ)風景です。

大安寺では 日々当山開基山森家、永代供養のご位牌 納骨堂のご先祖様 婦人会、梅花講講員、護寺会会員、檀信徒各家のご先祖様の供養をしています。

二月三日 厄払い追儺会
節分厄払い



住職の発声のもと 本厄・合格祈願者の方々に たくさんの豆をまいていただきました。福はうち！福はうち！！

二月十五日 釈尊涅槃会

大安寺護寺会理事の方々
発送作業の様子



檀信徒の皆様方にお届けするご案内を 護寺会理事の方々に 詰めの作業を行っています。



お釈迦様のご命日のおつとめです。
この世に住む 五十二のあらゆる生物がお釈迦様の 臨終を悲しんで 最後のお別れに集まっている様子です。

(入滅涅槃図 掛け軸)

ご志納を頂いた 皆様のご先祖さま
水子の霊のご供養をしています。



法要に先立ち皆さん方に 法要説明
をしている様子です。

三月二十日 春の彼岸会
水子供養

花御堂のお釈迦様に甘茶をかけてお祝
いしている様子です。天上天下唯我独尊



花まつりには白い象に花御堂を乗せお
祝いします。お釈迦さまがお生まれになる
前にマールヤ(母上)さまが白い象を夢見た
という言い伝えによるものです。

五月八日 釈尊降誕会
花まつり

美味しいと大評判^{とき}のお齋(昼食)
法要の都度 婦人会の皆さんが腕を
ふるっています。
無料ですので 法要にお越しのさいは
ご賞味ください。



大安寺の梅花講の講員さんの美声が お寺に響き
渡り 法要に花を添えてくれます。

平成二十年 七月からのお寺の行事

◎ 地藏供養祭

七月 二十四日(木) 午前十一時三十分より

◎ 孟蘭盆会

八月 十六日(土) 午後一時より

お斎(昼食) 正午より午後十二時四十五分まで

◎ 開山忌・万灯供養

九月 七日(日) 午後 六時より

◎ 開山忌・両祖報恩会

九月 八日(月) 午前 九時三十分より

☆ 道元禅師さま・瑩山禅師さま、当山歴代住職
さまへの報恩法要です。

◎ 秋の彼岸会・水子供養

九月 二十三日(火) 午後一時より

お斎(昼食) 正午より午後十二時四十五分まで

◎ 釈尊成道会・秋初穂献納

十二月 二十三日(火) 午後一時より

お斎(昼食) 正午より午後十二時四十五分まで

※ 皆さまの お詣りをこころよりお待ちしております。
おります。

婦人会からのお知らせ

大安寺の法要にあわせ活動しています。
多くの方の参加をお待
しております。

梅花講の活動



大安寺の法要等いろいろな
場面で活動しています。
随時 会員・参加者募集し
ています。お気軽にお問い
合わせ下さい。



護寺会だより編集部では、皆さまの
ご意見・ご質問等を募集しております。
左記までお送りください。

〒〇六一・一四一四

恵庭市大町四丁目二番二五号

大安寺内『護寺会だより』編集部宛

FAX 〇二二三(三三)八〇〇五

印刷・製本

(有)清光舎 水野印刷

恵庭市島松本町1丁目11-17
TEL:0123-36-8867 FAX37-2722